

## 令和2年度みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 開催結果

- 「学校生活に満足している児童・生徒の割合」のKPIについては、めざそう値未達成ではあるが、妥当なところだと思われるので悲観的に捉える必要はない。
- みどり市にとっての最優先事項は移住・定住者の増加だと考える。移住に関する補助金や子育て支援策については情報を整理して、ホームページや一覧表で分かりやすく伝えられるようにした方がよい。また、他の自治体より内容で勝っている補助金等があるとアピールしやすい。  
⇒移住希望者の目線に立った情報発信ができるよう見直しをしていきたい。
- 関係人口を増やすことで、人口増につながると考える。「教育環境」「公共交通」「買い物」「医療体制」が地方へ移住する際に重要視されるので、これらを充実させる施策があると定住人口が増えるのではないか。  
⇒「教育環境」や「医療体制」といった面でなかなか都市部には敵わないので、みどり市ならではの部分で関係人口を増やせる取組を検討していきたい。
- 新しい人を呼び込むことも大切だが、今いる人が長く住み続けられる地域にすることも大切である。地元にいれば親の介護もできるし、子育ても協力してもらえる。  
⇒住んでいる人にとって幸福度が高く、満足してもらえる市であることを第一前提として対応していきたい。
- 「廃校の改修」についての意見が出ているが、廃校を「使ってほしい」自治体と廃校を「使いたい」企業等とのマッチングを行う文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」を活用してみてもどうか。  
⇒廃校活用については、市職員で検討チームを立ち上げてなかなか良い提案が出てこない、という現状がある。このプロジェクトの活用について検討をしていきたい。
- ふるさと納税のポータルサイトは現在一つだけだが、間口を広げるために他のサイトも追加してはどうか。また、ふるさと納税の返礼品の需要はどのような状況か。  
⇒ポータルサイトについては新年度に追加する方向で調整しているところである。ふるさと納税の件数は令和2年度実績が約260件と前年度より約100件増加している。体験型返礼品として設定した、わたらせ渓谷鐵道に関するものやサンレイク草木宿泊券にも複数応募があった。